問題

◎問題１
Aさん（82歳・女性・❶要介護2）は、夫を7年前に❷看取り、その後は❸一人暮らしをしている。夜中にトイレに行ったときに❹転倒し、❺大腿骨頸部を骨折（fracture）して3ヶ月入院した。自宅に❻手すりをつけ、❼段差をなくす❽住宅改修をした後、退院した。何かにつかまれば、いすからの立ち上がりや歩行ができる。人と関わるのは❾苦手なため自宅での生活が中心である。❿遠方に一人息子が住んでおり、月に1度は様子を見に返ってくる。週3回、訪問介護（ホームヘルプサービス）の買い物代行や部屋の掃除などの⓫生活援助を利用している。Aさんはできるだけ自分のことは自分で行い、このまま自宅での⓬生活を継続したいと希望している。訪問介護員（ホームヘルパー）が訪問した時に、Aさんは一人暮らしを続けることが不安であると告げた。
Aさんに対する訪問介護員（ホームヘルパー）の⓭応答として、最も適切なものを1つ選びなさい。
1　「訪問介護（ホームヘルプサービス）を毎日利用したらどうですか」
2　「一人暮らしはたいへんなので息子さんと同居したらどうですか」
3　「また転ぶかもしれないと思っているのですか」
4　「グループホームに入居することを考えたらどうですか」
5　「手すりを付けたし、段差もなくしたので転びませんよ」

問題２

◎　Hさん（75歳・男性）は❶脳梗塞（cerebral infarction）を❷発症して入院し、❸後遺症として❹左片麻痺が残った。退院後、❺介護老人保健施設に入所し、❻在宅復帰を目指して❼リハビリテーションに取り組んでいる。ある日、HさんはJ❽介護福祉職に、「❼リハビリを頑張っているけれど、なかなかうまくいかない。このままで自宅にもどれるようになるのか…」と暗い表情で話しかけてきた。
　このときのHさんに対するJ介護福祉職の❽共感的な応答として、最も適切なものを1つ選びなさい。
1　「不安な気持ちに負けてはいけません」
2　「きっと自宅に戻れますよ」
3　「Hさんが不安に思う必要はありません」
4　「不安に思っているHさんがかわいそうです」
5　「リハビリがうまくいかなくて不安なのですね」

問題３

◎ いすに座っている右片麻痺の利用者の食事介護時の留意点として、最も適切なものを1つ選びなさい。
1　口の右側に食物を入れる。
2　利用者の左腕はテーブルの上にのせたままにしておく。
3　刻み食にする。
4　上唇にスプーンを運ぶ。
5　一口ごとに、飲み込みを確認する。